

4. 謝辞

本報告の作成にあたり、九州大学久田由紀子氏及び財団法人九州環境管理協会から資料のご提供とご助言をいただきました。ここに厚くお礼を申し上げます。

5. 参考文献

萱場互起,2009: 気象庁におけるヒートアイランド監視業務について —都市気候モデルによる解析事例の紹介—, 天気, 56, 955-960.

気象庁, 2005a: 気象観測統計指針

<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/kaisetu/index.html>

気象庁, 2005b: ヒートアイランド監視報告 (平成 16 年夏季・関東地方)

<http://www.data.kishou.go.jp/climate/cpdinfo/himr/2004/himr2004.pdf>

気象庁, 2006: ヒートアイランド監視報告 (平成 17 年夏季・関東地方)

<http://www.data.kishou.go.jp/climate/cpdinfo/himr/2005/himr2005.pdf>

気象庁, 2007: ヒートアイランド監視報告 (平成 18 年夏季—関東・近畿地方)

<http://www.data.kishou.go.jp/climate/cpdinfo/himr/2006/himr2006.pdf>

気象庁, 2008: ヒートアイランド監視報告 (平成 19 年冬・夏—関東・近畿地方)

<http://www.data.kishou.go.jp/climate/cpdinfo/himr/2008/himr2008.pdf>

気象庁, 2009: ヒートアイランド監視報告 (平成 20 年—東海地方)

<http://www.data.kishou.go.jp/climate/cpdinfo/himr/2009/himr2009.pdf>

財団法人九州環境管理協会, 2004: 平成 16 年度福岡市ヒートアイランド対策検討業務報告書

妹尾泰史, 神田学, 木内豪, 萩島理, 2004: 潜熱割合を考慮した人工排熱時空間分布の推計と局地気象に対する影響, 水工学論文集, 48, 169-174.

久田由紀子, 松永信博, 安東聡, 2005: 福岡都市圏における夏季と冬季のヒートアイランド構造の違い, 環境システム研究論文集, 33, 171-178.

久田由紀子, 松永信博, 安東聡, 2006: 海風進入が福岡都市圏の大気熱環境に及ぼす影響, 水工学論文集, 50, 487-492.

訂正

「ヒートアイランド監視報告 (平成 20 年—東海地方)」(平成 21 年 5 月 29 日公表) に誤りがありましたので訂正します。

(訂正内容) 表 4.1 「大都市および中小都市における気温の上昇率」(P.23)

中小都市の日最高気温、日最低気温の変化量 (単位 °C/100 年)

(誤) 日最高気温 +0.8、日最低気温 +1.5

(正) 日最高気温 +0.9、日最低気温 +1.8

なお、気象庁ホームページ掲載資料については、平成 21 年 12 月 10 日に訂正しました。